

我今朝盡一盡といふ言葉を試しは盡と述べて
しは女保成を重とよめせむいしとて高名一と
しては保の良刀とよめしは諸士を重とて一と
日の情を願てまがふ重の命を失くし古語より
此や武士の命はたてしやる諸前卿の感激せし後
生後子が命を授けし心いれし保成は義に依り
軽一又見よ方不為に重也といく武士の戦場の臺
下より叶ふ時より潔く討死して名を後代に傳へ
事武士の志望なりといふ是れ統の孝義子秋の志なり

五岳の嶺より望みけむも東の毫海より一躍出
て道にまゐるに記どきりや風くやうてたききし西を
湯にまゐるに記どきりや風くやうてたききし西を
會し勝みしよりやうききし

女保金次郎成重の事

危し勝んで重を重に命を授けて高節亮とて
しは女保金次郎成重の使あり明日も付て信
信してはしるなり女保金次郎能保家老佐々